

研究機関：広島大学

研究課題名	携帯型乳腺腫瘍位置検出装置による摘出乳房腫瘍の検出能評価
研究責任者名	広島大学病院 病理診断科 教授 有廣光司
研究期間	実施許可日 ～ 2026年3月31日
対象者	2022年4月から2023年3月の間に、広島大学病院乳腺外科で摘出手術を受けられる患者さん
意義・目的	<p>電波を利用する乳房イメージング法は、痛みや放射線被曝がない新しい乳房検査法として期待されています。広島大学では電波による携帯型乳腺腫瘍位置検出装置を開発し、特定臨床研究を実施した結果、偽陽性が臨床導入に向けた課題として明らかになりました。今回、摘出された乳房腫瘍組織の検体をこの腫瘍検出装置で測定することによって、課題の解決策を見出すために、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>病理診断科において、手術で摘出した乳房腫瘍組織を研究に使用します。カルテ情報（性別、年齢、病理診断記録のうち、分類、大きさ、領域）を使用いたします。摘出乳房組織の表面から組織を傷つけることなく腫瘍検出装置を用いて腫瘍の位置を計測します。広島大学より外部への試料・情報の提供はありません。</p> <p>試料・情報の利用開始日：実施許可日（2022年3月24日）以降</p>
共同研究機関	該当なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 病理診断科 教授 有廣光司
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 TEL：082-257-5591 広島大学病院 病理診断科 教授 有廣光司</p>